



## Gemini に聞いてみた「詫間中学校」

三豊市立詫間中学校は文部科学省より「教育課程柔軟化サキドリ研究校」に指定され、国際バカロレア MYP や人権学習を取り入れた包括的な教育を推進しています。同校は「調整授業時数制度」を見据え、柔軟なカリキュラムや探究学習を通じて、主体的な学習環境の構築を目指しています。

三豊市立詫間中学校が取り組む「教育課程柔軟化サキドリ」とは、文部科学省が指定する「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業」に基づいた、次世代の柔軟な学校運営を先行して試行する取り組みです。詫間中学校を含む指定校では、従来の学習指導要領で定められた標準授業時数を各校の判断で調整し、生み出された時間を「学校独自の教育活動」や「生徒の主体的な学び」に充てることが可能になります。

三豊市立詫間中学校は、公立中学校としては全国的にも珍しい国際的な教育プログラムの導入に積極的に取り組んでいる学校です。主な教育の特徴は以下の通りです。

### 国際バカロレア (IB) 教育の推進 (令和5年~)

現在、世界標準の教育プログラムである国際バカロレア (IB) の中等教育プログラム (MYP) 候補校となっており、認定校を目指した教育活動を展開しています。

**探究的な学び:** 単なる知識の習得にとどまらず、生徒が自ら問いを立て、考え、行動する力を教育を行っています。

**小中一貫の取り組み:** 隣接する三豊市立詫間小学校も初等教育プログラム (PYP) の候補校となっており、地域を挙げた国際教育の基盤作りが進められています。

### 多様な学びと国際交流

**アントレプレナーシップ教育:** 起業家精神 (チャレンジ精神や創造性) を育むための教職員研修や授業を取り入れています。(令和7年)

**海外交流:** 韓国の淳昌郡 (スンチャングン) の中学生と交流など、異文化に触れる機会を設けています。(令和5年~)

**環境教育:** 清掃活動やボランティアなどを通じた「アダプト・プログラム」への参加が評価され、環境美化の観点でも表彰を受けています。(平成18年)

みなさんの通っている詫間中学校は、上のように紹介されました。新しいことにチャレンジしながらこれからの時代を生き抜く生徒を地域や保護者の方々と共に育成していく学校が詫間中学校です。

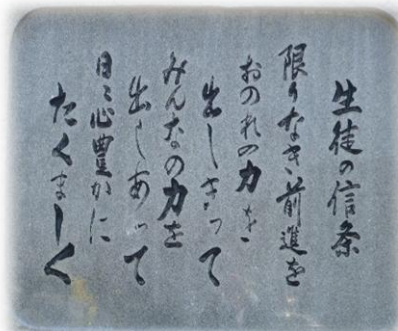
詫間中学校には、これまでの先輩方がつないできた伝統と学校としての誇りがあります。校歌の一番に「若きひとみに 大いなる 希望は燃えて」二番に「われら今 きたえるところ」三番に「誇りある 校史を守り 栄光の 明日をみざして 青春の 意気と力に われら今 こぞれるところ おお その名 詫間中学校」とあります。

※「こぞれる」とは、「一人残らず全員が集まる」「全員が一致して何かをする」という意味です。

詫間中学校にこぞった全員で新しい学校の姿を探究していきましょう。保護者のみなさまのご協力、よろしくお願いいたします。

※ お詫びと訂正 浦島伝説No.1の転入職員の氏名漢字に間違いがありました。

正しくは調理員 犬伏菜緒さんです。お詫びして訂正いたします。



【詫間中学校 生徒の信条】